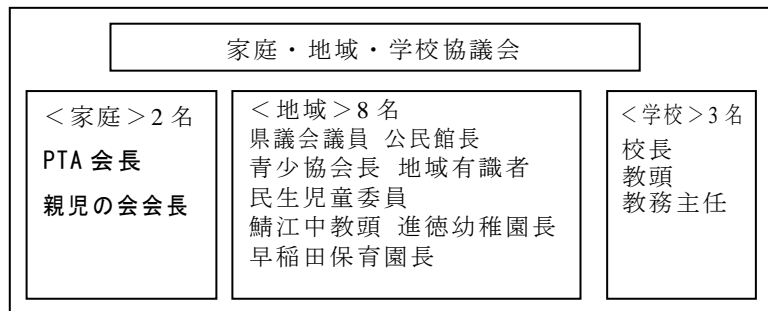


鯖江市進徳小学校

1 「家庭・地域・学校協議会」の運営について

(1) 「家庭・地域・学校協議会」の構成



(2) 協議会の内容

- ①開催実施回数 3回 (年間)
- ②開催日程
 - ・令和元年5月31日 (金)
 - ・令和元年9月26日 (木)
 - ・令和2年1月31日 (金)

地域コーディネーター (3名)
 青少年育成協議会会長
 民生委員主任児童委員
 やんしき踊り保存協会事務局長

(3) 協議会における成果と課題

教職員の超過勤務問題について興味関心が高く活発な意見交換が行われた。来年度も時事問題を含めて話題提供となり得る資料を適切に提示していく。

2 地域と進める体験活動

(1) 活動のねらい

児童たちが、地域の自然・歴史・文化をテーマとして、地域との関わりを大切にしたい体験活動を通して、地域の魅力を再認識し、地域に愛着と誇りをもつことで、ふるさと鯖江を愛する児童を育てていく。

(2) 活動の実際

① 地域の歴史・文化に関する学習会 (全学年)

各学年の実態に合わせて、地域の資料館や伝統的な「やんしき踊り」の話を聞き、歴史や文化を学んだ。そして伝統文化交流会に参加し、いろいろな伝統文化に触れ、舞台や行事で発表することで、より理解を深めることができた。特に、6年生が11月に惜陰小学校を訪問した「ふるさと交流学習」においては、惜陰小学校のふるさと学習の発表を聞いて、質問などをして、交流することができた。また、牧野市長から直接お話を聞く機会もあり、ふるさと鯖江の歴史を知るうえで、大変有意義な学習となった。



② やんしき踊りの普及活動 (全学年)

鯖江市の伝統芸能である「やんしき踊り」を普及させるために、本校では数年前から鯖江市やんしき保存協会の方々から協力をいただいている。体育大会では、閉会式前に保護者の方々も参加して親子

でやんしき踊りを踊っている。また、夏休み中に行われた市の行事「やっしきまつり」では、児童がグループ単位で申し込み、当日は学校で作成したはっぴを着て「こどもやんしき踊りコンテスト」に参加した。さらに、11月にいまだて芸術館で行われた「こしの都子ども伝統文化交流祭」に、4年生児童の中から19名が今年も参加して、やんしき保存協会の方々とともにやんしき踊りを披露した。参加する前には、保存協会の方々から踊りの歴史について学習した。



(3) 地域コーディネーターの活動概要

青少年育成協議会会長と民生委員・主任児童委員の方は、家庭・地域・学校協議会委員も兼ねており、学校に対して様々な活動を通して協力していただいた。特に、地域の行事では中心的存在であり、子どもたちに参加を呼びかけて活動のサポートをしてくださった。やんしき踊り保存協会事務局長の方は、学校へ踊りの指導に来られるだけでなく、地域や県の行事に参加する上で、学校との調整をしていただいた。また、本校でも後期クラブから「やんしき音頭クラブ」をつくり、やんしき踊り保存協会の方が来て、毎回、指導をしてくださった。

(4) 特に工夫した事項

- ・地域に関する学習したことをまとめるだけでなく、他の学年に向けて発表して、表現力を伸ばしたり、理解を深めたりするようにした。
- ・地域行事にただ参加するだけでなく、運営に関わることで参加意識を高められるようにした。

(5) 成果と課題

本校では、昨年度までも地域の方々や関係機関と連携して、地域と密着した活動に取り組んできたが、今年度は昨年度までの取り組みに加えて、新たに「やんしき音頭クラブ」を作るなど、児童ができるだけ進んで主体的に活動できるように工夫してきた。その結果として、これまで以上に児童は自分たちが住む地域の歴史や文化について多くのことを学び、地域に対する理解を深めることができた。学校評価の結果を見ても、「地域行事に参加しましたか。」という質問に対して、85%を超える児童が肯定的な回答をしている。

しかしながら、今年度の反省として、学校内外での活動や体験を通して学んだことを生かして、児童自身が、積極的に地域に関わるという意識はあまり高くなかった。来年度は、さらに児童が地域行事に提案ができるような取り組みを模索していきたい。